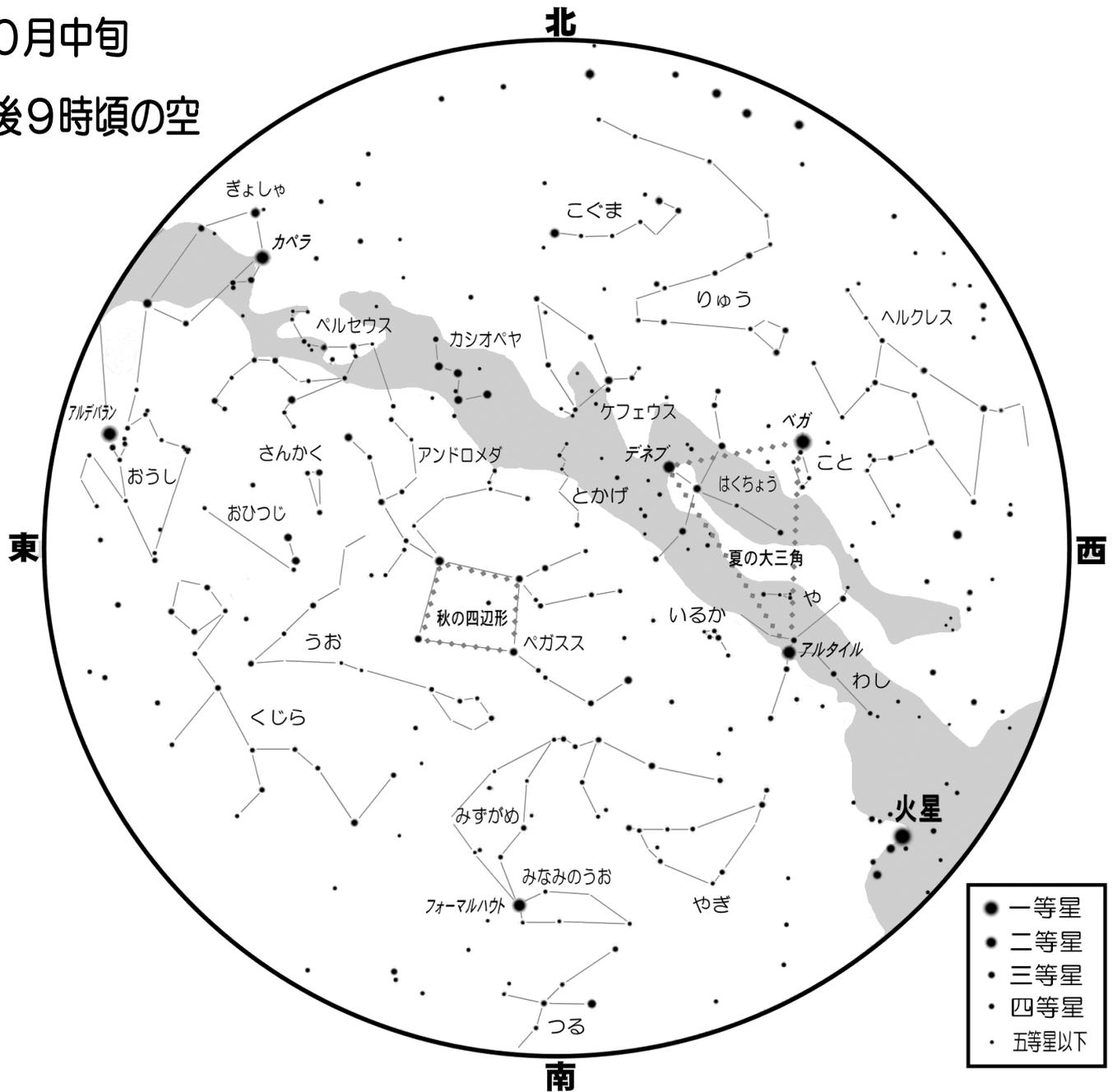


阿南市科学センター 10月の星空案内

10月中旬

午後9時頃の空



この時期は夏場に比べ気温も下がり、また、大気中の水蒸気量も少なくなることから、空気が澄み、非常に空が青く見えることがあります。そんな日の夜はぜひ夜空を眺めてみましょう。秋の一等星はみなみのうお座のフォーマルハウトしかありませんから、夏や冬と比べると華やかな印象はほとんどないのですが、空気が澄んだときには、そのような地味な星たちの輝きもいつもより冴えて見え、夏や冬にも劣らない見え方をする場合があります。

また、秋はギリシャ神話の「エチオピア王家の物語」に登場する人物や動物の星座が多く見られることも特徴のひとつです。エチオピア王家の王様の星座であるケフェウス、その後の星座であるカシオペヤ、お姫様アンドロメダ、勇者の星座ペルセウスなど、神話に思いをはせながら星座を探していくのも面白いかもしれません。

天体観望会のご予約、お問い合わせは

阿南市科学センター 徳島県阿南市那賀川町上福井南川洲 8-1 電話 0884-42-1600

10月の月と惑星

月の満ち欠け

月の形	●新月	◐上弦の月	○満月	◑下弦の月	●新月
見える日	1日	9日	16日	23日	31日

惑星

	水星 ●	金星 ●	火星 ●	木星 ●	土星 ●
上旬	日の出前、東の低空に見える (-0.9等)	日没後、西の低空に見える (-3.9 → -4.0等級)	夕方、南～南西の空に見える (0.1 → 0.3等級)	明け方、東の低空に見える (-1.7等級)	日没後、南西の低空に見える (0.3 → 0.4等級)
中旬	日の出前、東の超低空に見える (-1.1等級)				
下旬	太陽に近すぎて観察できない				

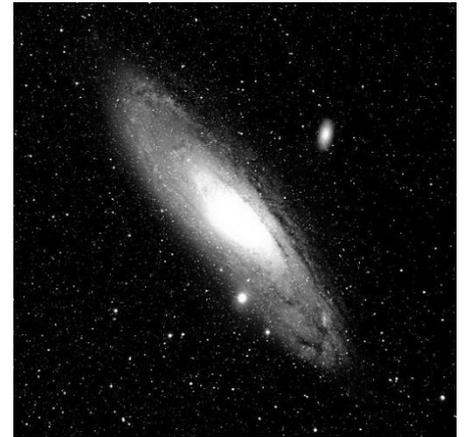
10月の見もの天体

○ アンドロメダ銀河(M31)

秋に見える星雲・星団の中で、もっとも有名なのが、アンドロメダ座大星雲です。この天体は SF のアニメや映画の中でも扱われることもありますから、皆さんも名前くらいは聞いたことがあるかもしれません。

さて、この天体の正体は、無数の星が集まった星の大集団で、私たちの地球や太陽などが含まれる銀河系(天の川銀河)の外にある天体です。そのような天体は、単に「銀河」と呼ばれていますが、銀河のほとんどは、何千万光年も離れたところにあるために全く肉眼で見えません。しかし、この天体は距離が 230 万光年と比較的近く、また、大きさも満月の 5 倍ほどもありますので、空の暗いところでは、うっすらと肉眼で見えることもできます。

天文館の大型望遠鏡で見てみると、その大きさゆえ、望遠鏡では中心のごく一部分しか入ってきません。よって、写真で見るようなイメージとはずいぶんかけ離れた感じとなります。この天体はむしろ、20 倍～30 倍程度の低倍率で見た方がよく、そのような理由から、科学センターの観望会では、20 倍の双眼鏡もご用意していただいています。このような大きな天体は、色んな倍率で見るとそれぞれで様子が違って見えます。これも天体観測のひとつの楽しみといえるでしょう。



今月の天文現象

10月30日 西の空で金星と土星が接近

今月の下旬ごろ、「宵の明星」、金星と美しい環をもつ土星が夕方の西の空で接近します。金星はここしばらく高度が低かったせいもあってそんなに目立つことはありませんでしたが、10月に入ると高度も少しずつ上がり、ずいぶん見やすくなりました。このように、これら惑星は自分自身の動きがありますから、毎日少しずつ位置を変えており、今月30日には金星と土星が約3度の間隔まで最接近します。また、11月3日には、この2つの惑星に月が加わり、ずいぶんにぎやかな眺めとなることでしょう。

なお、天体望遠鏡をお持ちの方は、ぜひそれらの惑星に向けてみましょう。土星は今月の観察を逃すと、しばらく見るのができなくなりますし、また、金星は月のように満ち欠けをしますので、見ていて大変面白い惑星です。金星は現在、半月を少しふくらませたような姿で見ることができそうですが、これから冬にかけて観測条件も良くなり、また形も少しずつ変えていきますので、継続して観察してみても良いでしょう。



天体観望会のご予約、お問い合わせは

阿南市科学センター 徳島県阿南市那賀川町上福井南川洲 8-1 電話 0884-42-1600